

浪岡自治区地域協議会の今後の進め方について

平成 30 年 3 月 27 日に開催された第 12 回浪岡自治区地域協議会において決定した事。

テーマについては、分科会方式に分かれるのではなく、全体的に話し合いを行う。

話し合いの中で、自治区終了までの工程表や、他の自治区ではどのような取り組みをしたかなどの資料等を事務局で作成することとした。

■協議会の今後の進め方



○自治区地域協議会で話し合いたいテーマについて

平成30年6月28日
浪岡自治区地域協議会 資料2
浪岡事務所地域づくり振興課

自治区終了後の体制	まちづくり	制度
<p>自治区終了後の自治区協議会のような機関を残すのか。残すとしたらどのような形がよいのか。</p> <p>自治区の延長が切れた場合、市に意見を提案できる組織が必要。</p>	<p>まちづくり重点8項目の検証について</p> <p>【テーマ理由】 重点8項目については、その大半は成果を得ていることですが、他項目の動向進捗について検証する。</p>	<p>入札の有りかたについて</p> <p>一市二制度がなくなった場合、祭りの協力や災害があった時には、浪岡に来て対応してくれるのか。</p>
<p>浪岡自治区地域協議会の今後 (まちづくり協議会に移行してはどうか。) 住民によるまちづくりネットワークの構築</p>	<p>まちづくり重点8項目の中から ・中世の里づくりを活かした歴史・文化発信強化について ・地域の身近な自然の豊かさと景観の積極的活用について ・地域の特性に応じた個性と魅力ある商工業の振興について 8項目の中でも特に上記の3項目についての検証を議題の候補として提案します。 浪岡の魅力を発揮できるものをとりあげた。これらをさらに深く検証していき、もう少し具現化できれば良いのではないかと。今は実績を出していくべき。</p>	<p>○委員意見 (3月27日開催)</p> <p>①今後のスケジュール ・工程表をつくって、3年間の流れを示してほしい。住居の表示はどうなるのか。他の自治区では、どのようなことを行ったか情報(資料)を出して欲しい。(自治区がなくなったらどうなるのかなど)</p>
<p>まちづくり協議会だと弱い気がする。 浪岡で必要なことを住民から吸い上げ、市に伝えていく組織が必要。</p>	<p>合併特例債事業として浪岡地区のまちづくりを振り返り合併後の現状と課題を検証し、「今後の浪岡地区の方向性、基本的な考え方」をまとめた中で「まちづくり重点8項目」が示されており、それらに基づいたまちづくりに資する事業として4事業の早期実施を求めそれぞれの事業は実施されており後3年間で方向性を決定させなければならないと推測されます。「まちづくり重点8項目」の検証が条件となりますが「浪岡自治区地域協議会で話し合いたいテーマ」を提出します。重点8項目をある程度納得できればいい。</p>	<p>②一市二制度 ・一市二制度について資料があれば出して欲しい。</p>
<p>自治区終了を見据えた「地域づくり」の体制について</p> <p>終了と決まった場合、協議会に代わる、地域の意見を反映できる仕組み(組織)は必要か。</p>	<p>1、農業生産振興と農業経営の体質強化 ・現状の地域農産物及び加工施設の検証 ・農業後継者不足対策 後継者の問題は話し合われているのか。 ・中小企業者の農業参入 ・生産放棄したりんご園の再利用</p> <p>2、福祉及び地域医療の充実 浪岡病院の案件で話が聞けた。 2-1地域医療に根差した医療の展開 2-2地域福祉の充実を図り高齢化社会を見据えた福祉事業</p> <p>3、空き家対策 3-1低価格で提供できるシステムの検討 県外から募集しては。</p> <p>4、観光資源を活かした観光振興 4-1完成されている「浪岡観光マップ」の観光資源をどのような形で利用するか 4-2青森市の鳥、フクロウの営業状況の検証 青森市のフクロウはどうなったか。 4-3より魅力を増やすために観光施設資源の共同運営</p> <p>5、町内会が指定管理を受けている公民館以外の会館運営の現状 現状の指定管理料で維持できない。</p>	<p>③自治区協議会終了後の体制 ・役所主導で決まるものが多いが、我々委員が中心になり体制を作っていくのであれば、やりがいがあると思う。</p> <p>・組織を立ち上げてもいいが、浪岡に独自に予算が付かないのであれば、今までの自治区と変わらないので、プラスにならないのではないかと。</p>
<p>合併してから13年が経ち、浪岡が青森と合併した経緯などを踏まえ、浪岡の位置づけをしっかりとしなければならぬ。そのために浪岡に自治区をつくってはどうか。</p>	<p>「行催事の再興」について</p> <p>(考察)浪岡公園と浪岡八幡宮と浪岡川 ・観桜会・御神楽・中世の館・ガイドダンス・宵宮・川原橋</p> <p>浪岡八幡宮1つで行事をやるのではなく、複数の神社で連携するなどすれば盛り上がるのではないかと。</p> <p>大太鼓などの活用。</p>	<p>④浪岡事務所(庁舎)の将来的機能 ・「協議会」でなくても浪岡庁舎に機能が残っていればよいのではないかと。</p> <p>・農林、水産、土木、福祉など全ての事務を行っている県の県民局のように浪岡事務所もしていけばいいのではないかと。</p>
<p>予算付けのある形の法的な自治区にしていきたい。 青森地区も何地区かに分けて、自治区をつくれればよいのではないかと。 特例債で造った箱物の修繕をどうしていくのか。</p>	<p>駅前低温熟成施設の活用状況と今後の運用について</p> <p>地域の身近な自然の豊かさと景観の積極的な活用について、浪岡城跡向い側の浅井緑道公園(現グランドゴルフ場)の間に(浪岡川と正平津川との合流点)に歩道橋(歩行者専用)を設置してはどうか。これが実現することによって、春の花見期の活性化、グランドゴルフ大会(県大会)等の開催、ウォーキングコースとしての活用・災害時の避難所等、広範囲な活用が図られると思う。</p> <p>益々、高齢化が進む中で、地域の活性化を考えると、やはり町内会が必要。 大きいテーマも必要だが、地域を少しでもいいので活性化させるような2、3年で成果が出るもの、健康寿命を扱うなどのテーマでもいいのでは。</p> <p>・浪岡の歴史を教育に盛り込めないか</p> <p>・今後の浪岡のまちづくり(浪岡城や新たに高屋敷館遺跡も見学出来るようになるので)の中の魅力を1セットで紹介できるツールの開発</p>	<p>⑤まちづくりにおける地域団体(組織)の共働 ・まちづくりの面でいけば商工会、観光協会、アップルヒルが主体となり協議したほうが話がまとまると思う。</p> <p>・観光マップにもいろいろスポットが書いてあり、とてもいいものだが共同で何かできないか。</p>